

# 博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡／湯之奥・中山金山

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報



## 甲斐金山遺跡 黒川&中山 を後世につなぐ! 甲斐の金山500年 今年いけます



中山金山遺跡の国指定が平成9年のこと。湯之奥金山遺跡総合学術調査開始から30年以上が経過し、年号も「平成」から「令和」に変わりました。もっともっと歴史を明らかにしたいという思いと、内山・茅小屋の2金山も地域の宝として国史跡に指定したい、という思いから、館独自の継続的調査を続け、少しずつその全容が明らかになってきました。

山中に眠る遺跡は隠すのではなく、様々な機会を通じて広く発信し、理解を深める手助けをするのもまた博物館の大事な役目。そんな遺跡の活用の在り方を模索しながら、ほんの少しでも近づけられるよう夢に向かって2020年も邁進していきます！

# 進め！ 栃代金山遺跡の実態解明

—「甲斐の金山500年、今年いきます」に向けて—

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 出月洋文

わが身延町の町域には、湯之奥の3つの金山(中山・内山・茅小屋)の他にも、常葉金山・栃代金山・川尻金山・大城金山など、いくつもの戦国期以来の稼業が伝えられる金山遺跡が存在しています。町域を越えて、広く甲斐国とされた山梨県全域についてみれば、さらに多くの金山があり、それらをまとめて甲斐金山遺跡として見ようとする考え方があります。

すでにお気づきかとも思いますが、この甲斐金山遺跡というのは、1997(平成9)年に、湯之奥の中山金山と甲州市の黒川金山がまとめて国史跡に指定された際の指定名称でもあります。そしてその根底には、甲斐のエリアに残存する歴史的な金山遺跡の姿を調査研究し、その価値を後世に伝えていくことの重要性が横たわっているものであり、この点に沿って学術研究と保存体制が整った2つの金山遺跡が先行して史跡指定を受けたという流れがあることは、これまでもお伝えしているとおりです。

広く甲斐金山遺跡の現状については、その歴史を証する史料もたいへん少なく、遺構の把握の進捗度は、黒川や湯之奥3金山を除き、あまりはかばかしくない状況にあるといえます。

湯之奥金山博物館では、これまで湯之奥の3つの金山についての調査研究に重点を置いた取り組みを進めてきました。そこには内山・茅小屋の両金山遺跡を史跡・甲斐金山遺跡への追加指定の途を開きたいとの願望がありました。近時になって、そのためにも甲斐金山遺跡全体の解明と保存のための方向性を整えていく必要が強く認識されるようになってきています。当然それは、当館が所属する身延町だけの問題ではなく、たいへん広い範囲にわたる長く厳しい道のりですが、できるところから一歩いっば進めていかなければならないことでもあります。

そのような訳で当館の甲斐の金山遺跡調査研究にも一段と重い課題がのしかかってきているとの認識の中で、今回は栃代金山遺跡の調査について触れます。

栃代金山遺跡は、博物館より車で30分程の場

所に入山口があり、そこから山道を登った先に存在します。そんな位置関係にあってもまだ調査回数は多くありません。したがってその全貌もまだ未解明です。

といっても、まったく情報がないわけではありません。まずは『下部町誌』(1981年刊)ですが、「栃代金山と遺跡」という項があります(p.1865~)。「関連文書も残っておらず、経営内容などについてはほとんど不明」としつつも、「栃代金山の経営も穴山氏であったのだが、湯之奥金山に比べるとはるかに小規模経営と思われる。天正二十一年六月(銘のママ)太田四方助なる人物が金山の安全を祈願して、栃代部落の山之神社に平鈴を寄進奉納している。」との説明が見られます。この引用文の前半は根拠資料等の明示を欠く推測的なものといえますが、後半部分は身延町指定文化財の「栃代若宮神社鰐口」の存在を根拠としています。「銘のママ」と「平鈴」の記述はこの鰐口とそこに見られる銘文のことを指しています。

これについて再び『下部町誌』を見ると「栃代若宮八幡神社鰐口」という項目(p.1904~)があって、「天正二十一年六月」の刻銘を有し、「山で働く者の守護神とされていた山神に、金山経営の盛大と、坑夫等の安全操業を祈念し奉納したもの」で、「他に手掛かりとなるものがほとんどなく、現存する資料とすれば唯一の、貴重な物」との見解がみえます。その項の末尾は「栃代金山は、天正十年前後、甲斐武田勝頼の時代をすぎると、一応山は閉山していたものと思



若宮八幡神社の遠景



われていたのであるが、信玄以来武力集団とも呼ばれていた金山衆の一味の者が、文禄の年代に至ってもなお金山にその名を連ねているところから、武田氏滅亡後もなお盛大に稼業していたものと思われる。」と結ばれています。

以上に見た栃代金山遺跡に関する『下部町誌』の記述は、身延町指定文化財の鰐口の存在に



栃代金山遺跡の遠景

よってのみ説明されている節がありますが、鰐口自体の理解にも、もう少し分析を深める必要がありそうで、検討はまた別な機会に譲ります。

そこで栃代金山遺跡の実際はどうか。当館では、『博物館だより』第84号に概要報告があるように、2018年5月に調査に出向き、鉾山臼の分布状況などを確認しています。また今年3月にも現地の周辺情報の収集に出かけており、残存する炭焼き窯、山葵田の跡や山神社のお札など関連する資料が確認されてきています。

こうした取り組みは、まだほんの入り口で、さらに調査を継続して全貌の把握に迫っていく考えでおります。数少ない博物館スタッフで、通常の館運営も行いつつ、フィールドワークにも時間を割いていくのはたいへんなことではありますが、前号にも述べた「甲斐の金山500年」イヤーの構築を魅力的になしていけたらと考えます。

## 42万人目は町内のお客様& 令和元年度(平成31年度)年間入館者数は目標2万1000人突破!

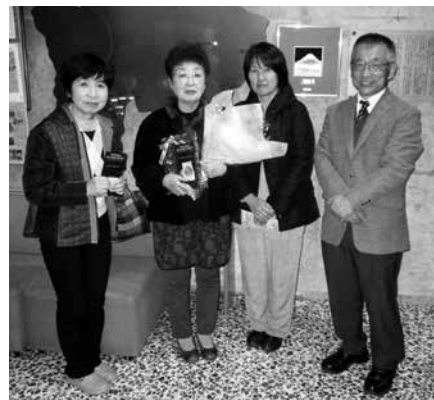
お客様1万人ごとに記念入館の顕彰している当館ですが、去る2月27日に、42万人目のお客様をお迎えすることができました。ラッキー入館者は、身延町内在住の高野和江さん。ご友人に誘われて博物館に足を運んだところ、この偶然に巡り合ったことに高野さんは大変驚かれた様子で、出月館長から花束と記念品を受け取りました。実はお友人もスタッフと顔なじみなくらい博物館によく足を運んでくださる方だったこともあり、「ぜひ一緒に記念写真を」と

スタッフに促され、記念撮影。撮影後、館長の案内で館内を満喫していただきました。

また町政15周年企画として通年開催した「GET! GOLD&SILVER」の大好評も手伝い、今年度の年間入館者数は目標の2万人を、2月の時点で超えることもできました。学校利用による子供たちの来館はもちろん、一般のお客様もたくさんお迎えすることができました。引き続き、多くの皆様がお越しくくださる元気な博物館であり続けられるよう精進してまいります。

年月	開館日数	区分	有料入館者			
			観覧	体験	共通	合計
31.4	26	大人	380	653	368	1,401
		中学生	5	68	33	106
		子供	101	217	153	471
		計	486	938	554	1,978
5	27	大人	516	903	523	1,942
		中学生	3	82	71	156
		子供	11	312	154	477
		計	530	1,297	748	2,575
6	26	大人	307	633	380	1,320
		中学生	2	10	168	180
		子供	3	160	48	211
		計	312	803	596	1,711
7	27	大人	411	628	370	1,409
		中学生	3	53	46	102
		子供	4	200	83	287
		計	418	881	499	1,798
8	無休開館31	大人	714	1,327	882	2,923
		中学生	9	126	74	209
		子供	27	568	470	1,065
		計	750	2,021	1,426	4,197
9	26	大人	350	688	309	1,347
		中学生	3	22	35	60
		子供	4	166	244	414
		計	357	876	588	1,821

年月	開館日数	区分	有料入館者			
			観覧	体験	共通	合計
10	25	大人	234	388	237	859
		中学生	1	6	5	12
		子供	18	162	63	243
		計	253	556	305	1,114
11	26	大人	468	637	274	1,379
		中学生	2	7	4	13
		子供	7	91	177	275
		計	477	735	455	1,667
12	23	大人	199	306	170	675
		中学生	4	17	8	29
		子供	17	44	35	96
		計	220	367	213	800
2.1	26	大人	214	559	261	1,034
		中学生	2	23	12	37
		子供	6	139	57	202
		計	222	721	330	1,273
2	25	大人	273	484	207	964
		中学生	7	21	1	29
		子供	1	72	48	121
		計	281	577	256	1,114
3	26	大人	259	443	137	839
		中学生	4	21	9	34
		子供	8	88	30	126
		計	271	552	176	999
合計	314	大人	4,325	7,649	4,118	16,092
		中学生	45	456	466	967
		子供	207	2,219	1,562	3,988
		計	4,577	10,324	6,146	21,047



(2020年3月26日現在データ)

# 活動報告

## 第8回金山遺跡・砂金研究フォーラム

2月8日(土)

金山博物館応援団Au会主催の「金山遺跡・砂金研究フォーラム」が、去る2月8日(土)に盛大に開催されました。北は北海道、南は島根県と約70名の方々が発表者・聴講者として訪れてくださいました。今回の発表は8テーマ9名。出月館長のプレトークから開会式、そして発表へと移っていきました。いつもの事ながら今回も多岐にわたった興味深い発表に、聴講者の皆さんは時に笑いを含みながら、耳を傾けていました。

当館は、金山遺跡・砂金に関する「知」を集

積し、発信する愛される学術施設であり続けたいと願いながら、一般の方々が気負わずに発表できる機会として、フォーラムを開催しています。これらの事業継続には世代幅広く参加していただける工夫が必要ですが、今年もこうした活動や研究の興味を持った若者が参加してくれました。フォーラムの締めくくりには、男子大学生2人に総評としてコメントをお願いしましたが、二人とも若いながら大変しっかりしており、会場の大人を感嘆させました。寄稿文をいただきましたのでここに紹介させていただきます。



### 金山遺跡・砂金研究フォーラムに寄せて～長澤穂樹(長野大2年)



第1回目、当時12歳の私にとってはフォーラムの発表は少し固い内容で、発表を聞くので精一杯の状態でしたが、回数を重ねるにつれ私自身の金についての関心もだんだんと高まり、最近は楽しみながら聴講できていると思っています。

今回のフォーラムでは、特に全国各地にある金山や、砂金についての研究の成果などを発表していただきました。どの方の発表も私にとっては知らない新しい情報ばかりで、とても興味深いものでした。特に日本だけでなく世界も含めた各地域の砂金や遺跡の情報は、フィールドワークがなかなか展開できない私にとってはとても勉強になっています。

他の講演会や発表会とは少し異なり、誰もが気軽に参加でき、疑問・質問があったらその場で気軽にできることがこのフォーラムの良さであると思っています。また、発表される皆さんはそれぞれの得意な分野で、様々な切り口から発表されていて、「金」というテーマはとても広く奥深いものであるということが毎年感じていることです。情報を共有することで、その場所について知らない人でも、考察したり新たな視点が加わることはとても貴重なことであると思います。

## 金山遺跡・砂金研究フォーラムに寄せて～金井勇樹(東工大2年)



今回のフォーラムに参加させていただきありがとうございました。

総括の時にも述べたのですが、様々な分野を持った人達が1つのテーマのもとに集まって互いの知識を共有するという場はとても貴重で大切なものです。

個人的にも興味があるテーマがいくつもあり発表毎に切り口も全て違うものだったので、視野を広げられるいい機会になったなと思いました。

今回のフォーラムのようなものであればどんな人でも興味を持てるものが1つはあると思うので、これがより大きなムーブメントになればさらに金山に興味を持ってくれる人が増えるのではないかと考えています。そのためには、初心者でもわかるように簡単な説明を付け加えたり、専門性が高すぎる話題をうまく言葉を使って説明したりする必要があって、とても手間のかかる難しいことだとは思いますが、どの方の熱意もすごくて、きっとできるんじゃないかなと希望を持っています。

ここからは個人的な話なのですが、鉱山史に関して日本でどのように鉱業が広まっているかなどにとても興味があり、それに関しても様々なアプローチがあるのかなと思われました。僕は今理系の学生で、学校においては何もこの分野には関わりのない状態なのですが、それでも自分だからできることを見つけて取り組んでいけたらいいなと考えています。ゆくゆくはここで何かしらの成果を出すことができたらとても嬉しいです。これからもこの集まりが続いていって、もっと盛り上がっていきけるように頑張りたいです。

## 栃代金山遺跡調査&古文書調査

3月6日(金)、15日(日)

3月6日、2回目となる栃代金山遺跡の調査。最初期までさかのぼると3回目になりますが、当時は右も左もそれこそわからない中で、ただそれらしき場所へ赴いただけのものでしたが、いずれにしても全貌はまだつかめていない町内の金山遺跡です。この3月15日に「チャレンジウォーク」として見学会を行い、さらに遺跡の情報を豊かにしようと事業計画しましたが、感染症被害拡大を阻止しようとの社会的要請から無期延期となりました。

とはいえ、継続的に調査を続け、来るべき時に公開できるよう準備を進めているのが、博物館活動です。地元詳しい町内在住の依田萬代ご夫妻のご助力をいただきながら、栃代金山遺

跡の調査を進めております。(※2ページ館長コラム参照)

3月15日には、やはり地元の方のご協力をいただき、古文書調査を行いました。もしかしたら金山の歴史の一端が古文書の行間に隠れているかもしれない。わからない歴史が明らかになるかもしれない、そんな思いを抱きながら調査を進めています。多くの方々のご協力がなければ成り立たない地元の金山の歴史調査。その調査の可能性は広がっていきます。

こうした調査を深化させ、また多くの皆様とより多くの目で遺跡の現場を俯瞰できる機会を迎えられるよう、日々の博物館研究活動も日常業務の裏で精力的に進めてまいります。





## いでさんぽ&館長講座 これからもつづきます

湯之奥金山博物館のイベント「いでさんぽ」の一番の目的は、峡南地域の歴史の現場を歩き、直に歴史の動きの片鱗を感じ取ることにあります。1月25日には身延線利用促進を踏まえつつ、歴史編として、早春の桜を眺めながら南部町内船まで足を延ばしました。

内船八幡神社では、参道横に設けられていた説明板を見た後、その歴史のあらましをチェックしました。八幡さんは、ご祭神が「ほむたわけ（応神天皇）」で、源氏の守り神なため、全国にひろくお祀りされています。身延町や南部町一帯についても、平安時代末から鎌倉時代にかけて、いわゆる甲斐源氏が多く活躍した流れを受け、八幡さん

があちこちにお祀りされているようです。内船寺のご本堂の背後の小高い場所には、四条金吾（四条頼基）墓がありますが、第2代執権の北条義時の甥にあたる光朝に仕えた鎌倉武士で、日蓮聖人の信仰を理解し支えた人物です。参加された皆さんは、こうしたエピソードを交えながら、鎌倉の昔に思いを馳せ、地域の歴史に触れました。

「いでさんぽ」と館長講座は、峡南の考古学という視点でリンクしていますので、合わせてご参加いただくとよりお楽しみいただける内容となっています。新年度も継続的に開催してまいりますので、イベントスケジュールをチェックのうえ、皆様のご参加をお勧めいたします。



## 第20回「激烈☆おやこ金山探険隊」名称変更について

湯之奥金山博物館では、夏ならでは、そして家族皆やお友達と楽しむことの出来るプログラムを企画・発信し、ご参加いただいた皆様からも大変好評をいただいております。博物館夏の大事業のひとつ、「こども金山探険隊」は、今年で第20回を迎えます。2020年、第20回という節目の年に合わせて、このほど「激烈☆おやこ金山探険隊」と名称変更しました。

日本最古の山金採掘の現場・湯之奥金山遺跡は、標高1964mの毛無山の中腹に位置します。ハイキングではなく、本気の登山を必要とするハードプログラム。ただし、本気で取り組んだ方は、必ずこれまでにない達成感と満足度を得ることができるはずです。

今年の日程は次のとおり。ご好評につき定員に達したため受付終了となっておりますが、キャンセルが発生する場合もございますので、ご興味のある方はHPにてご確認の上、博物館までご連絡ください。

**【期 日】** 令和2年8月10日(祝・月)～8月11日(火)

※雨天決行、ただし見学会中止(雨天プログラムに変更)

**【定 員】** 15人(要事前申込。先着順。保護者の人数は定員に含まれません。)

**【対 象】** 体力に自信のある小学3、4生以上～中学生(※必ず、1人以上の保護者同伴でお願いいたします。)

2日間通して参加できる方

**【集 合】** 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

**【参加費】** 参加費：6,000円(甲州金作製純金地金材料費として)

※材料費なので保護者・付き添い等からは徴収しません。

## 『ゆるキャン△』しまりん仕様“ビーノ”展示

2月27日～4月29日



アニメ『ゆるキャン△』の舞台で沸いている身延町ですが、この冬には、町内各所で撮影ロケが行われた同名実写ドラマと、同名ショートアニメが放送されました。アニメ「へやキャン△」では、博物館駐車場の「黄金の足湯」が登場したこともあり、登場キャラクターに思いをはせながら足湯を楽しむ姿も多く見られます。

そんな中、ドラマ劇中で使用された、主人公・

志摩リンの愛用「ビーノ」の実物が、ヤマハ発動機様のご厚意により博物館エントランスに2月28日から展示されています。このビーノがなんと、ご好評につき、展示期間を当初予定から約1か月延長し4月29日まで展示しています。世界に2台しかないという超レアアイテムのビーノを一目見ようと、多くのファンが聖地巡礼を兼ねて訪れていますが、写真撮影も可能ですので、お気軽にご覧になりください。



## 「GET! GOLD&SILVER」大好評で終了!

～3月22日



新身延町が誕生して15周年を迎えることをお祝いし、当館では昨年の4月から今年の3月までの一年間を通して、身延町合併15周年記念事業「GET! GOLD&SILVER～ぼく、もらえる」を開催しました。

特製純銀小判を10枚集めると、「純金もーん父さん」、5枚集めると「純銀もーん父さん」と交換できるというスペシャル企画。この期間中砂金採り体験の砂の中には、砂金以外に7人に1人くらいの割合で純銀小判が混入されていました。したがって通常の砂金採り体験を楽しんでいただいた方に平等にチャンスはあるというわけです。

難しくもモチベーションアゲアゲのこの企画にエントリーした挑戦者は67名!その中で、純銀小判を10枚集め、見事「純金もーん父さん」

をGETした猛者は6名。金銀もーん父さんダブルでGETしたのは3名。皆様には特別ケースに入った純金もーん父さんと達成証が手渡されました。

ちなみに、一人目の小判10枚達成者が誕生したのは7月6日。毎週末、お越しくださる努力のもと、なんと3か月という短期間でこの偉業を達成されたのです。もちろんスタッフ全員が驚いたことは言うまでもありません。ちなみに惜しくも小判5枚、もしくは10枚に届かなかった方の中には、純金箔入りワインなど別の景品に交換されるケースも見られました。

これからも世代問わず多くのお客様に楽しんでいただき、博物館に足を運んでもらえるようなイベントを企画展開してまいります。この栄光を見事手に入れた皆様をここにご紹介させていただきます。



氏名	達成日	小判GET数(期間中合計)
長谷部 孝さま(神奈川)	2019.7.6	27枚
村山 静夫さま(東京)	2019.8.2	34枚
三上 淳一さま(東京)	2019.12.22	22枚
渡辺 清人さま(静岡)	2020.1.6	10枚
内藤 秀明さま(愛知)	2020.3.20	10枚
宮坂 隆志さま(長野)	2020.3.22	10枚



## 湯之奥金山博物館 年間イベントスケジュール(2020)

日程	イベント	対象	内容
3月20日(金)～ 5月6日(水)	パネル展「いでさんぼ2019」 からの話題を集めて	一般	2019年度から始まった館長講座のアウトドア編の「いでさんぼ」の4回開催の内容や見どころなどで構成した写真パネルによって、各地の現場から地域を見つめるおもしろさをご紹介します。
4月18日(土)～ 5月31日(日)	企画展「甲斐の金山500年展」	一般	昨年の「甲府開府500年」と来年の「信玄生誕500年」の間で、500年というキーワードに沸く山梨。いま、湯之奥金山の創業の状況を中心に、広く甲斐の金山の状況を見渡しつつ、「甲斐金山遺跡」の500年の歴史をふりかえる企画展です。
6月中旬	遺跡見学会 史跡甲斐金山遺跡—「黒川金山」	一般	平成9年に国史跡となった「甲斐金山遺跡」は、湯之奥の中山金山と甲州市にある黒川金山で構成されています。その黒川金山のある場所は、中山金山同様にアクセスがなかなか難しいところ。史跡を所管する甲州市教育委員会の協力のもとに、当館の金山エキスパートが案内し、遺跡見学を進めます。
7月18日～ 8月23日	夏休み自由研究プロジェクト 2020in金山博物館	小中学生	夏休み期間中に、自由研究に取り組まれる小中学生が、金山の歴史や鉱物としての金のことなど、あるいはそれ以外のいろいろなテーマで自由研究をしてみたいとき、でも、研究の進め方がよくわからない、とか、何かヒントがほしいな、ということについて、当館館長がお手伝いをさせていただくイベントです。詳細はホームページでお知らせします。
7月25日(土)	第20回砂金掘り大会	一般	世界砂金掘り大会で国際ルールに準拠したルールにのっとり砂金採りの腕を競う、スポーツ砂金採り。全国から老若男女約200人が集まる日本最大の、砂金掘りイベント。記念すべき20回大会の今年は、スペシャル参加特典も☆
7月26日(日)	第17回砂金甲子園！ 東西中高交流砂金掘り大会	中高校	生徒たちが母校の看板を背負って繰り広げるスポーツ砂金採り学校大会！参加学校10校まで。ただいま受付中！（受付〆切7月上旬）今年の砂金王子&砂金クイーンは誰だ！？
8月2日(日)	第12回化学実験教室	小中学生	県下唯一の「化学」実験イベント！開成学園化学教諭の宮本一弘先生が、身近な化学の不思議を分かりやすく教えてください。自由研究はこれでバッチリ！
8月10日(祝・月) ～11日(火)	第20回激烈☆おやこ金山探険隊	小中学生	金山遺跡見学、粉成、汰りわけ作業、甲州金作りなど、金山の歴史を体感できる、結構ハードな親子体験プログラム。でありながら、全国から申込み殺到の大人気イベント。なぜ？その理由を知りたいなら、ぜひ参加するべし！第20回の節目でイベント名リニューアル☆
9月中旬	みのぶ町民ウィーク	身延町民	町民限定の常設展示無料開放ウィーク。町民の皆さま、この機会に博物館をもっと身近に、もっと知ってください。
10月中旬	遺跡見学会 茅小屋金山—「炭焼き窯」遺構を中心に—	一般	茅小屋金山は、継続した調査が進められてきています。そこには通常の登山道からでは絶対に辿り着けない、金山経営との関連が課題となる「炭焼き窯」の跡が多数点在しています。金山と「炭焼き窯」…どこで結びつくのか。注目の視点で現地を探ります。
12月中旬	オリジナル♡ じえるキャンドル作り教室	一般	自分の好きな小物やカラーサンドやガラス細工を組み合わせ、クリアキャンドルの中に自分だけの世界を作ります。親子で楽しめるお手軽教室。
11月下旬or 12月上旬	久間先生のモノづくり教室 シリーズ	小学校高 学年以上	モノづくり時々心理学教室☆島根県松江工業高等専門学校の久間英樹先生が、ロボット工作や錯覚工作など、いろんな切り口で、モノづくりの楽しさと大切さを教えてくれる大好評シリーズ。
2021年2月上旬	第9回金山遺跡・砂金研究 フォーラム	一般	博物館応援団Au会主催、毎年楽しみにして下さっている方も大勢いる「大人の研究発表会」です。今からネタを仕込み参加準備を！
毎月(不定期開催)	館長講座「峽南の考古学」	一般	2019年に始まった館長講座は、7月、12月を除く毎月開催。金山博物館が位置する峽南地域を対象に、その注目の歴史について、主に考古学的な視点で見渡していきます。
隔月(不定期開催)	館長講座アウトドア編 「いでさんぼ」	一般	博物館での座学となる館長講座の延長線上で、アウトドア活動が適した時期に開催となります。いつも見慣れた景色の中に、意義深い歴史的存在や伝統的な文化遺産、また変わりゆく地域の姿があります。そんなこと、こんなことを注意深く見ていく企画です。

※各イベントにつきましては詳細が決まり次第、博物館HPに順次掲載させていただきます。

※もーん父さん参加イベントは、確定し次第もんちゃんTwitter&Facebookでお知らせしますので要チェック☆

**2020年のゴールデンウィークは5月2日(土)～5月6日(水)まで。** ※7日(木)は振替休館日です

砂金採り体験室では、①カプセルくじ※小学生以下のチケット購入者限定 ②ハイスピード砂金採り60秒間一本勝負 ③30分間、一番とれた人の勝ち!(景品: スタッフの気分次第) ④貴石増量★などなど。②、③は体験室にて、不定期開催。いつやるかはわからないけど突然やります。他にもスタッフの気分次第で様々なイベントを開催するかも!!お楽しみに!!

## 編集後記

今春は、リバーサイドパークのカワツサクラがとてきれいに咲いたように感じます。地元のテレビニュースでも取材対象に取り上げていただき、その後、比較的晴天に恵まれたこともあり、ちょっとしたお花見や写真撮影に、多い日には100人くらいの方が、足を運んでくださいました。カワツの後はシダレザクラ、そしてソメイヨシノと桜の見ごろが次々と変わり、季節はまた移り変わっていきます。淡いピンク色に包まれて春爛漫…とはいかない状況が、いま世間を、世界中を騒がせています。この編集後記を書いている時点では、新型コロナウイルス感染騒ぎは収まっています。感染拡大を防ぐため、学校をはじめとする教育施設の休校や閉鎖、また多くの方が集まるイベント中止、あの東京オリオンピック2020でさえ…。様々な策が各所で講じられていますが、この『91号』が皆様のお手元に届くころ明るい兆しが少しでも見えることを願いつつ、新年度を迎えます。

6月までの開館時間：午前9時～午後5時迄(受付は午後4時30分迄)

休館日：毎週水曜日(水曜日が祝日の場合はその翌日)

**博物館だより**

第91号 令和2年3月30日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先

TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003

博物館HPアドレス <https://www.town.minobu.lg.jp/kinzan/>

博物館Eメール [yunoking@town.minobu.lg.jp](mailto:yunoking@town.minobu.lg.jp) もーん父さん 